

平成27年第2回定例会

一 般 質 問

古殿町議会

平成27年第2回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
6 月 24 日	1	岡 部 淳 一	日本共産党
	2	高 木 節 男	無 所 属
	3	佐 川 勇 司	無 所 属
	4	緑 川 栄 一	無 所 属
	5	佐 藤 一 夫	無 所 属
	6	佐 藤 弘 信	無 所 属
	7	木 戸 久 康	無 所 属
	8	鈴 木 一 郎	無 所 属

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	7 番 岡部 淳一	1. 四期目の町政運営、 五項目の重要施策 の考え方 (町 長)	(1) 幼児教育のさらなる充実。デイサービス体制の充実。 日常生活に不安のある高齢者が暮らせる居住施設の整備。 これらの充実・整備の具体的中身は何か。 (2) バイオガス発電の事業化は現在、どの段階の取り組み となっているのか。 (3) 休耕田、遊休農地の活用と循環型農業で目指す形はどの ようなものか。 (4) 地域の資源を活かした交流人口の拡大とは具体的に何 をさすのか。
		2. 定住促進の取り組 み・田舎暮らし・二 地域居住に対する対 応のあり方 (町 長)	(1) 愛宕団地跡地の整備状況と今後の進行見通しは。 (2) 現在町内には、定住された方、また二地域居住と言う形 で居住している方々は、どれくらいおられるのか。把握 状況は。 (3) 把握された方々と町との接点はあるのか。 (4) 定住された方・二地域居住の方々との間で、何か問題と なったことはあるか。 (5) あるとすれば問題点は何か。現時点での状況は
		3. 現時点で確認した い事柄について (町 長)	(1) 流鏝馬関連の馬の厩舎問題、その後の経過、再契約はし たのか。 (2) 28年度職員募集、資格免許職として保育教諭を募集し ているが、臨時職員からの採用などは考えていないのか。 (3) 現在国会において「平和安全法制案」が審議されていま すが、世論調査によっても国民の多くが反対する「戦争 をするための法案」そのものであります。ますます国内 各層から反対の声が大きくなっているのが現況です。そ こでこの法案に対する町長としての認識を伺いたいと思 います。
2	5 番 高木 節男	1. 歴史的地域資源の 活用について (町 長・教育長)	(1) 竹貫城とその周辺の城館郡の保存整備と活用などの計 画は。 (2) 町内の城館や屋敷跡などの保存整備と活用などの計画 は。 (3) 竹貫武士団の特徴などの調査と活用計画は。 (4) 竹貫氏の財源と想定され、塩の道の中継地点で市として 栄えた、荷市場の市神の碑など塩の道関連の整備活用計 画は。 (5) 流鏝馬の町として、流鏝馬の今後の課題と活用計画は。
3	4 番 佐川 勇司	1. 携帯電話使用困難 地域について (町 長)	(1) どの機種も全く携帯電話が使用出来ない集落地域と携 帯電話使用困難地域について町の施策を伺います。

番号	質問者	質問事項	要 旨
3	4 番 佐川 勇司	2. 有害鳥獣被害対策の国庫補助金について (町 長)	(1) 市町村が主体となり被害防止の施策に対して支援する鳥獣被害防止特措法について我が町の活用は。 (2) 特別交付率 5～8 割の補助内容は。 (3) 鳥獣被害防止総合対策交付金の活用は。
4	1 番 緑川 栄一	1. 道の駅の来客状況は (町 長)	(1) 年度ごとの来客状況は。 (2) 年度ごとの販売額は。 (3) 町として今後の取り組みは。 (4) 施設の拡大計画は。
5	1 1 番 佐藤 一夫	1. 町政のかじ取りをどう進めていくのか (町 長)	(1) 「語り合おう古殿 ともにつくる未来」を基本姿勢としていますが、町長の描くわが町の未来像はどのようなものなのか。また、未来の町づくりのため町民とのかかわりについて、どう考えているのか。 (2) 公民館改修と町民第 1 体育館の整備を最優先に進めていくとの事ですが、3 月定例会の結果が示すように賛成・反対が拮抗している状況を、どう捉えどのように進めていくのか。 (3) 重要施策の一つに「地場産業の振興」とあります。わが町の資源である森林を中心とした振興策が柱になると思いますが、間伐のように継続して実施されるもの以外に具体的な取り組みは。また多面的な事業展開のため、調査研究の考えについて。 (4) 「住民参加による協働の町づくり」をうたっていますが、関連の一つとして国も地方創生策を法制化しており、独自のアイデアと実効性の高い施策が望まれています。設置された創生町民会議に大きな期待を寄せる所ですが、組織の役割と事業実施に向けた国との連携について伺います。
6	3 番 佐藤 弘信	1. 空き屋・廃屋対策の法整備に対する取り組みについて (町 長)	(1) 法律が制定されたことにより、町ではどのような対応をしていくのか。 (2) 市町村は国の基本方針に即して空き家等対策計画を定め、その作成等及び実施に関する協議を行うための協議会を組織することになっていますが、その対応をどのようにするのか。 (3) 町では一度、空き家調査をしていますが、空き家に立ち入り調査することも出来るようになりました。対策を講じるためには基礎データが必要であります。詳しく再調査する考えはあるか

番号	質問者	質問事項	要 旨
			<p>(4)今回成立した「空き家対策特措法」により、特定空き家の所有者は早急に対応しなければ経済的な負担や行政による強制的な措置を受けます。町として空き家の利活用、経済的な負担に対する助成等は考えられないか。</p> <p>(5)「空き家対策特措法」の施行により、税制上の措置がされます。特定空き家等に係る土地について、固定資産税の課税標準の特例措置が対象から除外されますが、町として税収入に影響はあるか。</p> <p>(6)「空き家対策特措法」のねらいの一つは空き家の有効活用です。利活用に対する町の対策はどのようなものがあるか。</p> <p>(7)空き家対策に対して、町では条例を制定して町民に空き家対策への理解と重要性を認識してもらうために、条例制定を検討してはどうか。</p>
7	8番 木戸 久康	<p>1. 4期目の重要施策として表明した5項目の内容について</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1)子育て支援と福祉の充実の中で、幼児教育のさらなる充実の具体策は。また、高齢者の居住施設の整備の内容と場所は。</p> <p>(2)生活環境整備で旧愛宕団地跡地の整備を挙げたが、分譲を前提とするのか。住む場所の確保が最重要と思うが、農振地を除外する考えはないか。</p> <p>(3)地場産業の振興で、下水汚泥や生ゴミを利用したバイオガスの発電を事業化するとしたが、町だけの汚泥や生ゴミだけで運営の見込みは立つのか。</p> <p>(4)休耕地、遊休農地を活用した循環型農業の中身とは。また意欲ある生産者と新たな特産品開発で想定している団体、個人と何を開発するのか。</p> <p>(5)教育、交流環境の整備内容は。また、地域資源を活かした交流人口の拡大とはどのような内容か。</p>
8	2番 鈴木 一郎	<p>1. 林業の振興策は</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1)千年の森育成事業は今後も継続していくのか。</p> <p>(2)林業技術者の育成は。</p> <p>(3)町が所有者から預かる、受託管理を検討してはどうか。</p> <p>(4)町産材ブランド化基礎調査の結果をどう活かすのか。</p> <p>(5)林業関連施設とは具体的にどのようなものか。</p>